

MGF は、☑神第一主義、☑キリスト中心主義、☑聖霊主導主義の教会

礼拝黙想 Meditating on Worship

人は「洗礼によって救われる」のではない。「洗礼を受けてクリスチャンになる」のでもない。

「信仰によって救われたから、洗礼を受ける」のであり、「信仰によってクリスチャンになったから、洗礼を受ける」である。

A「それとも、あなたがたは知らないのですか。キリスト・イエスにつくバプテスマを受けた私たちはみな、その死にあずかるバプテスマを受けたのではありませんか。私たちは、キリストの死にあずかるバプテスマによって、キリストとともに葬られたのです。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも、いのちにあつて新しい歩みをするためです。もし私たちが、キリストにつき合わされて、キリストの死と同じようになっているのなら、必ずキリストの復活とも同じようになるからです。」(ローマ6:3-5)

洗礼は、私たちが罪から救われて永遠の命を持つ者となったことを公にするだけではない。救われた私たちがこれからどのように生きる者であるかをあかしするものでもある。洗礼はゴールではなく、スタートである。

『受洗した友への手紙』

バプテスマおめでとうございます。キリストを信じ、洗礼を受けるということは、人間の一生のさまざまなふし目、たとえば入学とか、就職とか、結婚といった人生のふし目の中で最大のものです。なぜならそれは「永遠」につらなるふし目だからです。

さて、あなたとわたし、これから地上の旅路をつづける間、おたがいの信仰によって慰められ、励ましあいつつ歩みをつづけたいものです。そこで信仰生

活のスタートをあなたより少し早く切った者として、口はばつたいながら、いくつか気づいた「信仰生活をつづけるコツ」とでもいったものをして参考にしていただければと思います。

あなたは洗礼を受けられましたが、〇〇教会の信者になったのではありません。キリスト信者になったのです。そしてこれから後の生涯、キリスト信者としての最大の仕事は、このキリスト信仰を持ちつづけること、守り通すことです。内村鑑三という偉い先生がこんなことを書いています。

わが事業は信者を作る事ではない。また聖書を講ずることでもない。また靈魂を救うことでもない。わが事業はイエス・キリストを信ずることである。彼にありてわが事業はすでにすんだのである。われが安らかに人生を楽しみうるはこれがためである。われが事業にあせらないのもまたこれがためである。事業、事業とあせる米国流のキリスト教は、余(よ)の全然堪ええないところである。(全集 21 巻二一八頁。大正 4 年)

あなたが今与えられたキリスト信仰を大事にし、守り育てること、これが第一の仕事なのです。そのためにはいくつかの配慮が必要です。ちょうど植物の成長に太陽と、水と、土と、肥料が大切のように、信仰の成長にも上なる主イエスの愛と、聖霊の働き(この聖霊はあなたが「イエスは主なり」と告白して受洗された時すでに与えられています)と共に、信仰の根が深く伸びるように、信仰の根まわりの土を耕すこと、肥料を

与えることも大事です。まず、第一は聖書を毎日読みつづけることです。一番よいのは毎日「旧約聖書」と「新約聖書」を一章ずつ読むことです。意味が分っても分らなくても読んでゆくのです。木村清松という大伝道者がこう言いました。「聖書を読んで分らぬところがあったら、飛ばして読め。分らないむずかしいところは骨みたいのところだから、それは神学者という犬が喜んでしゃぶる。君たちはよく分る肉のようなところを読み進め。そのうち骨の味も分ってくる」。

もちろん、聖書を読む分量や時間は自分で決めることですが、毎日読む、読まめと落ちつかない、という習慣をつけること、これが土を耕すことです。

第二は祈りです。祈りは神との対話ですから自分の思いのたけを言えばよいのです。はじめに「天のお父様」とか、「父なる神様」とか、「主イエス様」とか、主に対する呼びかけがあり、最後に「この祈りを主イエス様の御名によりお捧げします」と結べば立派なキリスト信者の祈りになります。

よびかけと結びの間に何を申し上げてもよいのです。お願いがあり、感謝があり、おわびがありますが、私としては祈りが「どうぞ」の祈りに終始するのは淋しい気がします。「どうぞ病気をいやして下さい、どうぞ××を与えて下さい」という祈りも必要ですが、「なんと」の祈りも大事だと思います。「なんと主イエス様はすばらしい方でしょう」という讚美の祈り、これは受洗間もないあな

たにもできるのです。例えば「今日も私のような者にこんな健康を与えて下さるあなたは、なんとすばらしい方でしょう」と祈るのです。この祈りを毎日、朝起きた時とか、寝る前とか、食前とか、祈らないと忘れ物をしたような気になるまで習慣づけるのです。それも声を出して祈るくせをつけるのです。信仰的土壌がさらに砕かれることうけ合いです。

第三は聖書を学ぶ集會にできるだけ出ることです。これは信仰の根を養う肥料です。洗礼を受け、長年礼拝に出ている信仰があまり成長しない人があります。根を養っていないからです。聖書はたしかに骨のような、神学者でないと分らぬところもありますから、聖書研究会や、聖書講習会で系統的に学ぶことが大切です。また聖書だけでなく、キリスト教講演会や、これはいいと思う催しに参加出席するのです。私に病弱の叔母がいましたが、キリスト信仰が深く入った人だなと感じられました。それは病弱ゆえに主イエス様によりかかる度合いが強かったともいえますが、病弱のため婚期が遅れ、それだけ集會に出る回数が断然多かった、そして心から耳を傾けて聴いた、これが信仰を養ったと思います。

第四は、よい信仰の友を持つことです。信仰の喜びや悩みを語り合える友を与えて下さいと祈るのです。この祈りは聴かれます。右にのべた聖書研究会や講習會に足しげく通っていると必ずすばらしい信仰の友にめぐり合えるものです。キリスト信仰は一人ひとり独立ですが孤立ではありません。キリスト信者の交わりほど深いものはないのです。私もかつて受洗まもないころ「よき信仰の師と友を与えたまえ」と切に祈りましたが、なんと主イエス様はすばらしい師と友を与えて下さったことでしょう。

さて最後はあふれです。それが五番目です。聖書を勉強する(熱心な人はヘブル語やギリシャ語で聖書原文に肉迫す

る勉強も始めます)、よい聖書の話や説教や講演を聴く。すべてもらうことです。自分に取りこむこと、自分を豊かにすることです。しかしいくら知識として教養として自分がキリスト教的に豊かになったとしても、あふれること、吐き出すことがなければ、流れこむ川はあっても流れ出す川がなかった死海の水が死んだように、キリスト信仰も見せかけの豊かさの中に枯れるおそれがあります。

それでは「あふれ」とは何でしょう。聖書を学び、主イエスのみこころ、その愛を深く教えられたところから立ち上り、一人ひとりが自分のできる応分の働きをするのです(エペソ 4:16)。自分に与えられた能力に応じ主のために働くのです。しかしその応分の力がもし8から10までの間とすると、上限に近い応分がよいと思うのです。教会学校の先生になるのもよし、会堂の掃除をするのもよし、教会活動や社会活動のさまざまな仕事のお手伝いをするのもよし、何か自分から捧げる、吐き出す、あふれさせる、これが信仰生活の成長に必要です。

その中から献金ということができます。献金はガスの集金のように「払う」ものではありません。会費のようによい話を聞かしてもらった代償に「出す」ものでもありません。それは捧げるもの、あふれるものです。受洗された始めから、自分は一月これこれ捧げようと心に決め、それを毎月献げる習慣をつけるのです。

そして「あふれ」「捧げ」の最高が礼拝です。日曜日礼拝にゆくのは良い説教や聖書講義を聴いて自分を豊かにするためではありません。主を主とし、神を神として礼拝するためです。むこう様を讃めたたえ、主がいかに大いなることをされたかを讃嘆、感謝するためです。この日曜礼拝を休まぬ習慣をつけて下さい。やむなく出られぬ時は家庭で礼拝する時を工夫するのです。そう

です。この家庭での家族との集會を始めることが、あなたの信仰を持ちつづける大きな力となるでしょう。

もっともっと書きたいのですが紙数がつきました。ゆったりと、しっかりと信仰生活をつづけましょうや。主にありて。小弟。

以上、〈藤尾正人著『ほっとしなけりや福音じゃない』より〉

実に心のこもった平易で的確なアドバイスである。さすが大先輩。せつかく受洗したものの、離脱、脱落した友を数多く目の当たりにしてきたのだろう。日本全国の受洗者全員に読ませたい手紙だ。

☞「ですからあなたがたは、すべての悪意、すべての偽り、偽善やねたみ、すべての悪口を捨てて、生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な、霊の乳を慕い求めなさい。それによって成長し、救いを得るためです。」(1ペテロ 2:1-2)

受洗者は生まれたばかりの乳飲み子(ベビー・クリスチャン)である。良い牧者であるイエス・キリストは、みことばによってご自身の羊を養うために教会に牧者(牧師)を立てられた(エペソ 4:11;ヨハネ 21:15-17)。しっかりと教会につながって、がつつりみことばの養いを受けてほしい。ところが中には牧者がちゃんとみことばを満遍なく教えているのにもかかわらず群れを去って行く受洗者もいる。「悪意、ごまかし、偽善やねたみ、悪口」の悪癖を捨てない者は純粋な、みことばの乳を嫌う。彼らはこれらの罪をやめない限り、教会を何度鞍替えしようとも霊的に成長することはない。

主にありて。最小弟。罪人頭。カズ

Ω

<お知らせ ANNOUNCEMENT>

★9月15日(日) ディアコノスによるランチ提供あり☺

MGFはキリスト狂徒の集まるキリスト狂会

「教会【マラナサ・グレイス・フェローシップ(略称:MGF)】はキリストのからだであり、すべてのものをすべてのもので満たす方が満ちておられるところです」(エペソ1:23)。「あなたがた【MGF】は、キリストにあって満たされているのです。キリストはすべての支配と権威のかしらです」(コロサイ2:10)。